

# いなづま

題字 小寺寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合  
 編集総務部  
 住所 函館市日乃出町7番22号  
 印刷所 畠山印刷



ハリストス正教会

謹  
賀  
新  
年

新年のごあいさつ

理事長 大倉伸夫

明けましておめでとうございます。  
 組合員の皆様方には、すこやかな新春をご家族の皆様と共に迎えることとお喜び申しあげます。



昨年は干支の始まりの年でもあり、景気も何とか上向いてくれるのではないかと期待したのであります。ここ道南地域は青函トンネル、テクノポリス、函館ドックと話題が豊富であつた割には景気が浮揚せず、ひたすら「忍」の一年を繰返したのであります。

当組合においても、全日電工連の組織を通じていろいろと対応策を講じたのですが、いづれにしましても受注産業更には下請企業の域を脱することが難かしく加えて元請企業からの圧迫は日毎に厳しくなるばかりであります。

しかしながら、情勢はすでにニューメディアの時代に入り、目まぐるしく移り變る消費ニーズに対応するため、先端技術は二世紀へ向つて限りなく前進を開始し、その質的内容は、従来の思考、感覚を一変するほどの充実ぶりを示しつつあります。

このような変革に対応するために、私共電気工業界は自信をもつて常に主役的役割をはたさなければならぬとの意識の上にたち、新しい分野に活動を見いだすために不斷の努力と研鑽を積み重ねていかなければならぬのであります。

全日電工連の組織を有効に活用し、各支部を中心に

組合員一同益々団結・協調し、経営者の意識革新ながらに技術向上、保守管理業務の拡大等を図り、業界の地位保全のため新らしい年に向つて邁進しようではありませんか。

## 新年のご挨拶



北海道電力株式会社函館営業所

所長 片山敏勝

新年あけまして、おめでとうございます。

組合員の皆様方には、この輝かしい新春をご家族とともに、お迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年は天候に恵まれ稻作は久しぶりに豊作となりました。漁業もイカ漁は不振でしたが秋鮭が豊漁となりました。

さらに、待望の函館地区のテクノボリス地域指定も実現する等低迷している景気の動向の中で、少しはありましたが明るい展望が見えた年であったと思われます。

しかしながら、道南地方の景気は依然として厳しいまで推移しており、電設工事業界にとっては多難な年であったと推察いたします。

一方、当社にとりましても、永年懸案でありました泊原子力発電所がようやく建設認可となり、64年度一号機運転に向けて着々と工事を進めておりますが、需要については本道の構造不況を反映し依然として伸び悩みの状況がつづいており、本年は需要拡大に全社をあげて努力しなければならない年であり、皆様方のご

協力を心からお願い申し上げます。

今年の干支(えと)は丑(うし)にあたり、60年の景気も牛の歩みの如くスローモードではありますが着実に上向くものと期待しております。

年の初めにあたり、皆様とご家族の方々のご健勝と電設工事業界のご発展をお祈り申し上げるとともに、電気事業に対するご理解となお一層のご協力を賜わりますようお願い申し上げ年頭のご挨拶といたします。

## 役員会だより

### 第五回役員会

五九・九・一三

#### 一、慶弔報告

- (一) 山崎電気商会代表者病気入院見舞
- (二) 横川村電気商会代表者母堂ご逝去
- (三) 第一電気工業㈱代表者母堂ご逝去

#### 二、貸付報告

四社 一五〇万円

#### 三、各支部報告並提案事項

- |                  |      |     |     |      |
|------------------|------|-----|-----|------|
| 東支部              | 福島支部 | 北支部 | 中支部 | 江差支部 |
| それぞれボランティアを実施した。 |      |     |     |      |

#### 四、総務委員会事項

- (一) 組合の脱退について
- (二) 安全大会の報告について(詳細前号掲載)
- (三) 一般転貸の事故報告
- (四) 商工中金に対する増資について
- (五) 事務局燃料手当および慰安旅行補助金について

### 第六回役員会

五九・一〇・九

#### 一、慶弔報告

- (一) 山崎電気商会㈱従業員ご逝去

#### 二、貸付報告

六社 三一〇万円

#### 三、各支部報告並提案事項

- (一) 東支部 器具販売業者が低価格で照明器具を取付けているが、何とかならないか。
- (二) 中渡島支部 第三者賠償制度の補償費の支払が遅い。
- (三) 赤川支部 仮設工事の取扱について、関係先に文書等でP・Rしたらどうか。

#### 四、総務委員会事項

- (一) 第二回電気工事業全国大会について
- (二) 昭和五九年度年末特別融資について
- (三) 永年勤続者表彰式について
- (四) 会計中間決算について
- (五) 異議なく承認された。

- (四) 臨時仮設電気設備による電気事故の再発防止について
- (内) 事業内認定職業訓練校再開の見込みについて
- (六) 事業委員会事項
- (一) 全日電工連第三損害賠償制度、グループ共済制度、共同保守管理業務の実績報告
- (二) 軽微な工事の解釈について

#### 六、事業委員会事項

- (一) 臨事供給仮設工事の取扱いについて
- (二) 高圧ケーブル施工技術者の認定制度について
- (三) 臨時電灯・電力で配線ブレーカーで契約する場合の取扱いについて

(一) 共同保守管理業務の推進について  
 (二) 三省協定の賃金調査について

## 第七回役員会

## 一、慶弔報告

(一) 事務局佐藤職員母堂ご逝去

(二) 佐々木電気商会代表者母堂ご逝去

(三) 高野電気工業所代表者母堂ご逝去

## 二、貸付報告

八社 二四五万円

## 三、各支部報告並提案事項

東支部=軽微な工事の届出方法について討議した。

北支部=負担金工事の期間短縮が出来ないか。

江差支部=同 右

赤川支部=照明器具販売業者が知らない間に器具を

取り付けて仕舞った。

八雲支部=今後の業務計画として、共同保守管理業

務に重点を置く。

福島支部=支部会議の出席率が悪い。

四、総務委員会事項

(一) 昭和五九年度年末特別融資について

(詳細別掲)

(二) 会計中間監査の報告

(三) 雇用保険不正受給の防止について

四、簡易保険郵便年金福祉事業団の指名競争参加資

格申請について

(五) 駐車場賃貸の終了について

(六) 組合新年宴会について

(七) 永年勤続者表彰式について

(詳細別掲)

(八) 事務局職員冬期手当について

五、技術・教育委員会事項

(一) 臨時供給仮設工事の取扱いについて

(二) 管内北工連絡会議について

(三) 講習会、研修会について

(四) 主任電気工事士研修会

四月一六日(火)

◎ 松下電工研修会 二月二三日(土)  
 六、事業委員会事項

(一) 各種共済制度等の資料について

(二) 大同生命共済保険の取扱代理店の変更について

(三) 共同保守管理業務新規受託契約数コンクールについて

ついて

全日 北電函館営業所管内北工連絡会議に吉田副理事長ほか委員一名出席

20日 通年雇用促進相談会に坂本事務局長出席  
 (於建設業会館)

21日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席

全年 年末調整取扱説明会に坂本事務局長出席  
 (函館商工会議所)

## 組合行

10月3日 八雲支部北桧山ブロック会議

9日 第六回役員会

12日 東支部会議

全日 渡島地方技能訓練協会訓練校事務研修懇談会に佐藤職員出席(於恵山)

15日 いなづま編集会議

全日 対北電懇談会

19日 全日電工連互助会に大倉理事長出席

全日 道工業組合役員会・委員会に吉田副理事長出席(於札電協)

23日 中渡島支部会議

全日 年末特別融資説明会

北支部会議

25日 全日電工連第二回全国大会に大倉理事長出席

席 福島支部会議

26日 全日 会計中間監査

全日 江差支部会議

## 組合員の異動

一、㈲本庄電気工業所

上磯郡上磯町字久根別 (新)

二、函館市東山三丁目

一丁目一三一五 (旧)

一、マツヤ電気

上磯郡上磯町字久根別

一丁目一七一二四

函館市東山町

一四一五 二八一一〇二

一、㈱繁田電工

繁田電気工業所

11月12日 国立総合訓練校訓練計画委員会議に平井理事出席

14日 道工業組合技術・経営委員会に吉田副理事長出席(於札電協・北電)

年末特別融資委員会議

15日 八雲支部八雲ブロック会議

16日 全道職業訓練大会に大倉理事長出席(於札幌)



永年勤続

# 表彰式

昭和五十九年度の永年勤続者表彰式が、二月二日組合会議室に於いて被表彰者、來賓、組合役員等関係者が出席して挙行されました。

最初に大倉理事長が挨拶に立ち、「本日受賞される皆さんは会社の中心的な人ばかりなので、電気業界が置かれている立場を理解していると思います。今後は新しい時代にマッチしたやり方で事業に取り組んでいかなければなりません。これを一つの契機として、より一層のご活躍を期待します」と励ましの言葉を贈り、勤続三〇年以上一名をはじめ四〇名の永年勤続者一人一人に表彰状と記念品を授與しました。

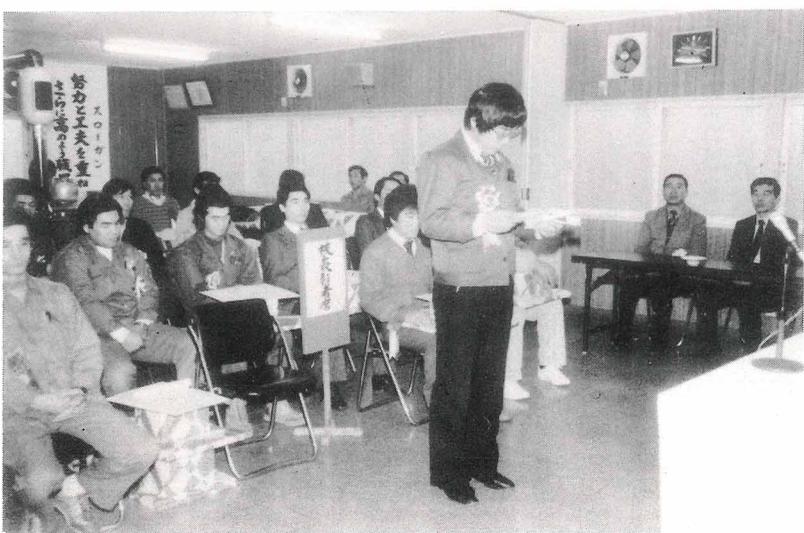
次いで、柴田函館市長（代理、鹿角商工観光部長）片山北電営業所長の各来賓より祝辞があり、最後に受賞者を代表して岡田武氏（樺電工業（株）勤務）が「これからも会社、業界のために全力を尽くしたい」と決意を述べました。

このあと、今日までの労をねぎらい、又今後の健斗を祈つてさやかながらも和気あいあいの裡に祝賀懇親会の一時を過ごし閉会いたしました。

昭和五一年度に組合総代制度が制定されたのを機会に、昭和五二年度永年勤続者表彰式以来開催日を勤労感謝の日の前日と定めて開催して來たのであります。が近年になって電気工事の進捗が変化し、一ヶ月が繁忙期となつて永年勤続者表彰式に出席出来ない受賞者が増加の傾向となつて居ります。

理事会でこのことについて審議され、明年度以降、他の適当な日時を決めて一人でも多く受賞者が出席出来るよう配慮いたしたいと思います。

勤続年数	会社名	新規登録会員		登録会員数		登録会員率(%)
		登録会員数	登録会員率(%)	登録会員数	登録会員率(%)	
10年以下	日本興業電機函館支社(株)	佐藤日樺山加瀬(有)三岩藤本後同電同電内同賀同興越電北藤電氣機工工電電電機工保右右業業右氣右機商事全商會(株)会(株)会(株)会(株)工会(株)	勤続15年以	佐藤栄同電電氣上氣工工右業業事業(株)会(株)氣(株)	勤続20年以	岩越電機商會(株)
11年~12年	齊鈴藤木	松高能長平岡戸伊神村久熊八登本橋藤谷崎松田内藤馬上保谷戸道勝邦道悦雄義義辰辰辰俊也彦禧夫朗二武治信広彦夫美幸	勤続14名	清清伊田村東松浅水藤中田本山三政信一智兼善直也見広紀英吉孝治	勤続8名	古岡弘
13年~14年	満修					



# 青 森 地 熱 発 電 所 を 見 学

青年部々長の平沼氏より、見学会が無事終了した旨の挨拶のあと、発電所についての感想を語り合い、午後八時終宴となりました。

去る一〇月一三日、組合青年部は今年度の実施事業として森町字油川の北海道電力㈱森地熱発電所を見学しました。

午後二時大沼国定公園の駐車場に一〇名の参加会員が集合し、そこから車で発電所へ向かい、午後三時に目的地に到着しました。

森地熱発電所副所長の鈴木氏が施設の説明と案内をしてくれました。

初めに会員は説明室において発電の仕組が書かれた大きなパネルを見ながら説明を聞きましたが、それによりますと、地球の火山帯の地下数キロメートルから数一〇キロメートルに、約千度のマグマ溜り（岩石が溶けた状態のもの）があり、その熱伝導によって地下水が温められ、高温高圧の热水と蒸気が発生している。この貯溜層にボーリングをし、蒸気と热水を取り出してタービンを駆動し、発電をすることとなります。

昭和五六年四月に着工し、昭和五七年一月に営業運転を開始したこの発電所は、脱石油エネルギーの一環として注目されているそうです。

会員は時々メモを取りながら熱心に説明を聞いていました。

次に施設内部を見学して歩きました。出力五万キロワットの蒸気タービン、容量五万五千六百キロボルトアンペアの発電機、変圧器や巨大な冷却塔などを見学しました。

会場を森町の椿荘へ移し、午後六時から懇親会が始まりました。



昭和五十九年度

# 年 末 特 別 融 資 実 行

第八回目の年末特別融資が、例年通り一〇〇万円と二〇〇万円の二通りで去る一二月一五日実行されました。

実施に先立ち融資希望を募ったところ一三社から申込みがあり、融資希望額は二一〇〇万円と過去最低の申込額であったことと、昭和五八年度の同融資で二件の事故（このうち一件は全額が返済されました）が発生したこともあります。理事会において特別融資の是非について審議したのですが、最終的には本年度も実施することになりました。

一〇月一五日で申込を締切って一〇月一九日に説明会を開催、一一月一四日に経理担当理事および特別金融委員合同で決算書類等について厳しい内容審査の結果申込通り一〇〇万円五件、二〇〇万円七件合計一二件で一九〇〇万円の融資が決定しました。（一件は審査前に辞退しました）

第一回目から数えて融資の総額は三億四千六百万円になった訳ですが、今後もこの制度を継続していくためには、お互いが協力のもとにこの年末融資を適確に利用し、又多数の組合員が安心して利用出来るようになることが大切であると思われます。

◎ 年末特別融資利率＝年七・八七五パーセント

このたびの見学会の候補として一〇ヶ所程度の施設がありました。しかし、電気工事業に携わっている者として初めて電気が誕生する施設を見学したいという意見が多く、森地熱発電所に決定したのですが、石油エネルギーを必要としない新らしい発電所の見学は大変有意義であったと思います。

終りに今回の見学会に御尽力いただいた北電函館支店総務課の上林氏、森地熱発電所の鈴木氏に深く謝意を表します。

（青年部副部長 梶原慎司）

# サハリン日記

## 文祖の地を踏む その二

### 平沼鉢子

(前号七月二十六日続き)

熊笹峠に着く。天候は晴れたが吾々の心は雨である。此処はソ連が日本との約束を破つて、北緯五十度の国境を越え、同時に豊原を目指して真岡に上陸して進撃を開始したソ連軍と、これを阻止した歩兵第二十五連隊中川大隊との間に激戦が展開され、多数の日本兵士が戦死した。勿論ソ連兵にも死者は出たろうが。満足な武器も火薬もなかつた日本軍の死者の多いのは当然のことであつたろう。

双方の戦死者を祀る記念塔であった。塔は円の四分の一の形に湾曲した柱の上に大砲が載せてある。当時を思い出した人達は「鉄砲も弾もなくて戦争に勝てるか」と口々に話していた。

バスが真岡の市内に入ると「あそこは…」そこは…」と思いつがはづみ、急に車内が賑やかになり中腰になつて窓に寄る。王子製紙時代の工場、社宅数棟が昔のままの姿で人が住み工場が稼動していた。

十六時、真岡市長を表敬訪問。昨日と同様の挨拶、少し違うところは

「真岡は現在人口四万九千人。真岡を訪れる外国人は年に四〇〇人位でその九十パーセントは日本人である。今後ますます友好を深め平和を維持したい」旨を強調する。

いよいよ目的の慰靈祭である。墓は一寸した坂のぼらなければならない。雨の為道が悪く坂の下で下車して歩く。道庁の係長さんや若手の男性達が祭壇や供物などをかついで登る。墓地は広くはないがそれでも余裕のある空間であった。晴れていれば間宮海峡が見

える筈なのに残念である。墓域の周囲は皆アパート、低いが墓域に垣を廻してある。墓は日本式、しかし棹の表面を削つて別にコンクリートを埋めたのか又はしつくいかとも思われるほど棹の表面は歴然と色が違う。

棹の表面の白い部分に「日本人の墓」と黒く書いてあるがおせじにも立派な字とは言えない。何時、誰が持参したのかは知らないが棹の前にリリーフのお地蔵様の石像が安置されている。幼子を亡くして賽の河原で泣く子の為か、或いは六道の辻に苦しむ肉身の供養の為か、わざく日本から運んだのである、思いやりだけでも涙がこぼれる。

黙祷の後、団長が知事の追悼のことばを、この地区の代表者が追悼のことば、そして各々献花をして式は終了した。その後各自、自由に参拝との事で私は同行の磯部さん、木村さん（二人とも女性、今回の墓参で女性は私と三人）と共に、「般若心経」を誦し、心をこめて「地蔵和讚」の御詠歌を唱えた。

目的の一つが終つた。今夜は真岡泊りなのでこのあと施設見学である。がソ連の好意で真岡の北の蘭泊地区に住んでいた四人に別行動が許され、通訳付きで別の車で出発した。残つた吾々はフェリーの埠頭を見学した、本国シベリヤのワーニャとの間に往来する貨客船の基地である。本国とサハリンは線路の巾が違うので此處のクレーンは貨車を吊りあげて列車の車輪をレールの寸法に合つたものにつけ替えをするとの事である。吾々が見学に行つた時はその作業がすでに終つていて貨車はすべて船内に納まつていた。

建物の壁にロシア時代からの船の歴史のリリーフが

あつた。丸木舟から帆船を経て今日迄の船の変遷である。二階に本国に渡る客が三四十人位出航を待つてゐた。シベリヤの港ワーニヤまで九時間、モスクワまでの通しキップで旅行も出来るとの事である。このようないいと説明していたが、これは遠い将来の事なのだろう。

次に「金魚幼稚園」を見学。一才六ヶ月から七才の学令期までの子供をあづかるとの事で、幼稚園と保育所兼用である。先生は大学出で看護婦、保母等の資格を持つている。この幼稚園は海運会社の經營である。昔は親の収入に関係なかつたが、現在は収入によつて料金が異なる。しかし、最高でも二十ルーブル（一ルーブル日本円にして三百十七円）である。函館の大谷幼稚園と友好関係を結んでいると言つていた。贈られた本「よい子」「幼稚園」それに日本人形などを見せてくれた。子供達は夏休みで半分しか居ないとの事であつたが、それでも吾々の訪問を意識しての事なのか、皆小ぎれいな服装で歌や遊戯をみせてくれる。

日本語で「モシモシ亀よ亀さんよ…」を歌つたのに感心、よく仕込んだものと皆で大きく拍手をする。吾々も入つてゲームをやり踊りをやる。おひるね用のベットを見たが清潔そうである。例の座ぶとんのような枕は三角形にしてあつた。ピロシキと紅茶をご馳走になつたがそのピロシキの大きいこと、一つで沢山。太つた先生たちにはパクパク食べていた。

ホテルに帰ると蘭泊地区に行った人達が先に帰つていた。学校があつた、家が残つていたと皆興奮気味に話をしていた。

ホテルのベットは真中が十センチ以上も凹んでいる。スプリングでも折れているのではないだろうか。ここもお湯は出なかつた。

七月二十七日 金曜日 晴

朝食に始めて目玉焼が出る。美味だつた。

十時、本斗に向けて出発する。今日は昨日訪問の真

岡市役所の文化部長、ガリー・ナ女史も同行する。ピンクの小花を散らしたツーピースを着用、なかなかの美人である。途中広地に一時停車、女史はここから戻った。この広地橋は昭和十六年と読める。海辺に高い煙突が二本、樽工場との事、鮭、鱈の塩蔵用であろう。

## タラン泊の鮭鱈孵化場を見学するのかと思つたら一時停

車、説明では奥に行く橋が工事中との事である。鮭鱈

の廻上までに間に合うよう工事をしている由、八月末から九月に鮭鱈が盛況となり、時には川の水が見えなくなる。そこで日本の機械や網を使用している。この孵化場はサハリン州で一番大きく、日本時代より規模を広げた。下流で魚を護り上流に運ぶとの事、稚魚は三四センチ位になつてから池に出し、その後川に放流する。時には一億粒位放流する事もある。餌はメンタイの卵を使用する。従業員三十八人で作業している。日本時代はやまべの養殖をしていたが現在はしていない。伐採は禁止、新しい企業も禁止しているので、水はきれいだし量も変わないと説明される。魚は環境の変化に敏感だと言うから、日本のようにどんどん開拓していれば、魚も来なくなるのは当然だと思った。秋に来た墓参団の人達は、鮭で川水が見えなくなつたのを見たと言うことである。

ツーリストの支店長が蕗の葉を折つてカップを作り川の水を飲んでいる。なかなか器用なことをするなど見ていると、三十四人の人達が真似をして同じく川水を飲む。

## 古代、万葉集に

家にあれば筈に盛る飯を草まくら

旅にしあれば椎の葉に盛る

と言つてゐる。権太開拓時代は今のようにして蕗の葉を飲む。



塔峠記念碑

はっぱで水を飲み、握り飯など包んだのであろうと思う。阿幸地区に一時停車、地区出身の二人が奥まで送つてもらう。現在は野菜の栽培をしているとの事、行って来た二人は山も川も昔のまゝ、吾家がなくともこの目で住んでいた山と川を見て來たから満足だと話していたが、

## 國破れて山河あり

とはこのことか、ジーンと来

て感無量であつた。

真岡から本斗迄の間の海は小舟一つ見えずゴメ一羽飛んでいない。すべて遠洋漁業なのだろうか、隣席の成田さんは昔此処の水産物の検査員だった由「この辺りを毎日通つた、広地の昆布は巾が広く樺太一だったが、ソ連人は昆布を食べないから全然取らないのだろう、昆布を干す小石が全然浜はない。今なら昆布がワシサと取れるだろうな」と言つていた。

本斗の市長は留守で副市長と会う。副市長の挨拶の中に、現在人口三万三千人、トロール基地であること、ミンク飼育場、岩鉱が二つあり党の配慮によつて五年に十億円以上の金が使われて都市の建設を行つてゐる、海員養成所があり国家で経営しているなど施設の充実を一つ一つ説明し國家の予算を話しよことづくめである。ただ此處でアメリカのロケットについて言及し、核戦争の準備に入つた事を指し、サハリンは日本と同じ海、同じ大洋にあり吾々は隣人を大切にし平和維持の為、チャレンジングはその方面に大きく配慮していると結んだ。

同行の三浦氏から山の上に競馬場があつたのだが現在何になつてゐるかとの質問が出る。が、サハリンでは馬は二頭しかいないとの答えが返つた。山にはテレビのアンテナ塔を建てる予定であるとの事である。昼食は街なかのレストランで、バンドが入り吾々に

はっぱで水を飲み、握り飯など包んだのであろうと思う。お粗末の一語につき。だんだん落ちて來たと言う感

敬意を表してか日本の歌謡曲を演奏する。本斗の街では一番のところなのであろう。しかしこのトイレはお粗末の一語につき。だんだん落ちて來たと言う感じである。

成田さんがチョコレートを買つてくる。家の家のあつたところだから記念だと言う。いくらでしたかと質問に「わからない、青いのと赤いのを一枚づつ取られた」とのんきな返事が返つて來た。

本斗の墓地は低い丘で墓は四角い石が地面におかれている。日本式の立体的なではない。慰靈祭を行つて此處出身の鈴木氏がまつかなグラジオラスの花を供える。早朝花やをさがしたとの事であった。鈴木氏の追悼のことばは後半涙声でとぎれとなる。ここで

も「般若心經」と「合掌」の和讃を唱える。

二十分钟で内幌着。墓参団が内幌を訪れるのは七年振りとの事である。墓地は小高い丘にありソ連人の墓地と共同であるが一番高い處に墓が建つてゐる。日本式の立体の墓である。晴れた日は間宮海峡は勿論、昨年問題の大韓航空機の事故が起きた海馬島(モネロン島)が見える。墓は真岡や本斗と違ひ基礎が三段でその上に棹が載り、一番墓らしくキチンと整備されてゐた。丘をのぼりながら野の花を摘む。白いマーガレット、可憐なピンクの川原なでしこで小さな花束を作り供える。三浦さんの追悼のことば、私は「般若心經」と「觀音大慈」を唱える。

写真は海を写すなどの事であつたが、この日は海も空もはつきりせず境界がわからない。海馬島なんか方向さえもわからない。ソ連側の指示だから一応注意しなければならないのだろう。

今夜の真岡泊りを変更して豊原迄の強行軍となつた、大いに賛成。スプリングの折れたベットより豊原の方がいい、しかし疲れた。

真岡の夜の街を歩いた人の話では葬式に遇つた由、五キロぐらいのゆるい速度の小型トラックに棺をのせて、相当数の車とバスがつづいていたとの事である。鄭さんの話では遠隔の地なので本国の親しいなどが来る

## い　な　づ　ま

れないから、職場の友人や隣人達だらう。意外と朝鮮系の人達が此處に長く住んでるので、友人のつきあいが多いとの事である。

七月二十八日 土曜日 曇後晴

最後の墓参である。雑木林の中を通る。墓はソ連人墓地の中にあるが、広いスペースでよく整備されている。ソ連人の墓のまわりに雑草が丈高く生えているのに、日本人の墓地は草一本なく芝生がきれいで刈り込まれている。近所に住むソ連人が自発的に管理をしてくれているとの事である。門から墓まで小石を敷き、その参道の両側に花壇を作り紫色の小花が咲いていた。

慰靈祭は二時間の予定であつたが一時間位で終了した。

私は「般若心經」と「觀音大慈大悲」を唱える。敷香には行くことが出来なかつたが、心から安らかに眠り給えと舅・姑・亡夫の従兄弟の冥福を祈つた。私の戦後はこの墓参で終つた。かつて沖縄の渡嘉敷島で戦死した弟の慰靈祭を行つた時、だんだん小さくなつてゆく島に向つて、私の戦後は終つたと叫んだ。今、訪う事もないと思つていた父祖の地に墓参を了えて、これで名実ともに私の戦後は終つた。

ソ連人の墓は不等辺三角形が多い。必ずと言つてい程墓の主である故人の写真が貼つてある。一墓に一枚もあり二枚、三枚も貼つてあるのがある。日本のように一つの墓に先祖代々と言つるのはないらしい。写真が貼れなくなつたらどうするのだろうか、現在でも三角の面に丁度よい位置に二枚、三枚と貼つてあるのだから、追加が出たら墓面のバランスが崩れるのではないかと、余計な心配をしてみる。この墓域のソ連人の墓は全部立体的で地面に置いたのは見なかつた。

ホテルの三階の係は日本人に変つた。食事前はソ連人だったが食事をすませて上つてゆくと日本人が居たので、部屋に来て貰つてストッキングをあげる。「アラ」と声をあげて喜んでくれる。日本に帰らないのかとの質問に、自分には身元引受人が居ない為帰れないとの事である。両親も兄弟も皆死んでしまつたと妹さんと磯部さんがやはり同級生との事である。

後でわかつた事だが、彼女の御主人と同行の木村さんは学校の同級生で家が近所にあつた由、又御主人の妹さんと磯部さんがやはり同級生との事である。

ホテルの三階の係は日本人に変つた。食事前はソ連人だったが食事をすませて上つてゆくと日本人が居たので、部屋に来て貰つてストッキングをあげる。「アラ」と声をあげて喜んでくれる。日本に帰らないのかとの質問に、自分には身元引受人が居ない為帰れないとの事である。両親も兄弟も皆死んでしまつたと妹さんと磯部さんがやはり同級生との事である。

## 施設見学

## サービスセンター

洋服の仕立、電気製品、時計、靴の修理販売、帽子の製作、理美容等が一堂に集まつてセンターハウスである。國家の經營だから同業者の競争もなくうらやましい限りではある。洋服は修理のほか新調もする。寸法を取るコーナーとデザインのコーナーは別々である。縫製はこの建物ではなく別である。通訳のトーリヤさんはこの施設は日本にはないでしょうと一寸自慢気でしゃれをしている。毛皮のコーナーでサービスセンターのブリーチュ主任は即売すると言つていた。値段は日本より安いと思つた。冬の厳寒期には貧富の別なく毛皮を身につけなければ過ごせない土地だから生活必需品である。

## 豊原墓参



## 露店

ホテルの前に小さな台をおいて店を出しているのを見た。

赤ちゃんのにぎりこぶし大のトマト、塩鱈、玉子等を売つてゐる。通行人が玉子二ヶ、トマト三ヶと買つてゐる。もう一つの台はキヤンデー（キヤラメルか）を売つてゐる。大きさは日本のキヤラメルの倍くらいの大きさでバラ売りである。三ヶ四ヶと売る。四ヶ買った人が居た。又何かの果実のジャムのびん詰を売る台もあつた。総じて庶民の生活はつましいと見えた。

## ジャンプ台

一九七二年札幌オリンピックのあと練習を強化する為、札幌を真似て作られた。九十メートルと七十メートルの二台ある。この九十メートルで笠谷選手が銀メダルをとつた。サハリン新聞社がソビエトサハリン賞を設けることをソ連政府から許可され、毎年、国内の選手が集まる由、アルペン選手権も行なわれている。

一九八一年にレニンぐらードから来た選手が、九十メートルのジャンプ台で、一五メートルを跳んだ。

### キャンプ村

このジャンプ台のあたりは夏休みの子供達のキャンプ場となっていた。子供達は此處に二日間居てあと十六日間はどこかの山を歩き、十八日間経ると又別な生徒と交替する。私達が行った日は丁度十八日目で、昨夜のキャンプファイヤーのあとがあり、輪になつてお別れの歌をうたつていた。

日本時代に出来たヒュッテ風のトンガリ屋根の家があり、現在も使用されている。皆で中に入り一休みしたと話していた。この山は全山落葉樹ですべて日本時代に植林したものである。目の下に豊原市街が一望出来る、曇空ではつきりしないのが残念である。

### バザール（露店）

同じような店が數十軒ならび総じて野菜が主である。山菜を味つけして皿盛りしたり、トマトやじやがいもを一山いくらにしたり、市場内はどの店も同じである。店を出す人の八十パーセントは日本時代から樺太に住みついた朝鮮の人達と思われる。日本語でどこから來たのかと声をかけられる。この人達の殆んどが吾々が墓参団であることを知っていた。値段は日本円に換算して安いと思った。

日本語が出来るので話をしているところをファイルムに納めたいと思い、おばあさんに一緒にと言つたら大仰に手を振つて荷台の下にもぐつてしまつた。あとで聞いたらソ連の私服の警察がどこかでチャンと見ていて、何を話したかとしつこいそうである。ソ連にしてみればスペイ行為に類するものなのだろう。

このあとデパート、貴金属店、魚、食品、書店と廻る。デパートで婦人用靴下の値段を見て驚く。日本円にして千四・五百円、喜ばれるのも当然と思う。私達は夏でも外出の時は靴下をはくが、ソ連人はノースト

ッキング、真岡の市役所の文化部長もはいていなかつた。思い出にスカーフをと思ったが、品数限定で気に入つたものがなくあきらめる。書店でソ連全土の地図を買う。主要基地樺太の何と小さいことか。

魚や食品の店はすべて冷凍か缶詰、缶詰に手が出たが重さを考えてかごに入れたのを戻す。貴金属はいくつかが本物であとはイミテーションのファッショングのばかり。

(以下次号)

### 博物館

待望の博物館。ソ連が破壊しない筈である。入母屋作りの瓦ぶき、白壁の立派な建物である。玄関の両側に昔の樺太神社の前にあった高麗犬を置く。こんな畜生と思ったがソ連にしてみれば戦利品だから致し方なし。

一六四十年、ビートル大帝（帝政ロシヤ時代）の時くり舟で測量し、一八〇五年、フルテンヒタインがサハリンの地図を作つた。十八世紀に開発の手を入れ、一八六十年囚人流刑の地とし、政治犯のみを送つた。

一八九十年、アントンチエホフがこのサハリンに来た。オロツコは十七世紀のはじめ大陸から渡つて来て北方に住み、アイヌは南部に住んだが現在アイヌは居ない。

一つづつ展示品を指しての説明である。しかし、日本の中宮林蔵が島だと言つたのは、ソ連人ネベリスコイより先だが、そんな事は一言も言わず、第一発見者としてのネベリスコイの胸像が飾つてあった。帰路

豊原の空港で税關検査がすんで一休みしている時、外務省の森泉氏が読みたいくつも本をさがしてもらつた由、その本にはチエホフが中宮林蔵が先に島だと言つたと書いてあるそだが、本当なら大々的に宣伝したいと思う。森泉氏はサハリンのツーリスト支店長に「私はこのチエホフの言葉を高く評価します」と盛んに話していた。

最低賃金額以上の賃金を支払わないと、最低賃金法違反となり处罚されることがあります。

昭和五九年一〇月一日から発効  
(精勤手当、通勤手当、家族手当は算入されません。)

## ＊お知らせコーナー

### ◎ 最低賃金法に基く、 北海道最低賃金及び産業別 最低賃金が改正されました。

#### 北海道最低賃金

日額	三、二一九円
時間給	四〇三円

あつた標識。菊の御紋と帝政ロシヤの紋章が入つた石柱を見つけたが意外に小さいのに驚く。歴史の本ではもっと大きな感じだったが、台の上に載つていたためだろ?か、裏側になつていて菊の御紋を苦労してフレームに収める。

## 臨時電灯・電力で配線用 ブレーカで契約する場合 の取扱いについて

北海道電力株式会社

- (2) 電力契約の場合 (3相3線式供給)  
 製約電力 (Kw) =  $\sqrt{3} \times A \times V \times \text{力率} \times 1 / 1000$
- (注) 単相の場合は  $\sqrt{3}$  を乗じない。  
 $\sqrt{3}$  は、1.732とする。

- 3 力率は、100%とする。

A	配線用ブレーカの定格電流
V	標準電圧

建築・土木工事工程の推移等により使用する負荷設備が変動するなど負荷設備の把握が困難な場合で、需要家において使用する最大電流を制限する装置(主しや断器、以下「配線用ブレーカ」という)が取付けてあるときには、左記により契約することができる」としましたのでお知らせします。

## 記

- 4 料金適用力率  
 料金適用力率は、高力率型機器を使用するものとみなし、90%を適用する。
- 5 実施月日  
 昭和五九年一月一日以降受付けのものから適用する。
- 6 その他  
 この取扱いについて不明の点がありましたら、最寄りの当社営業所へご照会ください。

## 組合情報消息

一、一月二十七日 信平電気工業所代表者怪我入院

2 配線用ブレーカの取付け  
 配線用ブレーカは次のとおりとし、需要家の負担で一引込み(一契約)を単位として、一括容量のものを取付ける。

(1) 配線用ブレーカ (NFB) JIS C-8370  
 (2) 漏電しや断器 (ELB) JIS C-8371

(注) 電気用品取締法の適用をうけるものは、その型式認可をえたものである。と。

3 契約電流(または容量、電力)

(1) 電灯契約の場合  
 a 単相2線式供給の場合

契約容量 (kVA) =  $A \times V \times 1 / 1000$

(注) 契約電流の場合には、1kVAを10Aと読みかえ  
 る。



上ノ国電気工業所川

島勝三郎氏は去る一二月三日腸閉塞のため函館市立病院にて急逝されました。こゝに御冥福を祈りつつ追悼の記を綴ります。

遺 傳 記

昭和一三年三月町立湯岱尋常高等小学校を卒業し家業の農業に従事して居りましたが、昭和三年四月に北海道電力㈱の集金業務を委託することになったのを契機として、一念発起電気工事業の途に入り、共栄電気工業㈱の下で五年間を努力に努力を重ねて参りました。

昭和三七年一〇月には晴れて上ノ国電気工業所を開業し組合に加入しました。

以来独学で電気工事の資格も取得し、上ノ国町の広い地域を隅から隅まで走り廻り地域電気工事のため尽力して参りました。

今春二月に病のため函館市立病院に入院されました。が、七月に快癒退院されお元気に仕事をして居られるとお聞きして居りましたのに、突然不帰の人となつたき報せにたゞ驚きと哀惜の念に堪えなればかりであります。

故人の努力と今まで残された業績は、不滅の道しるべとなつて我々を激励し、もつて業界の発展の一助となることを信ずるものであります。

こゝに生前を偲び、謹んで故人の冥福をお祈りし  
 へつ追悼の記といたします。

われらの生命・われらの誇り

## 保守管理業務

# 契約推進コンクール

実施期間 昭和59年12月～60年2月 3ヶ月間

保守技術員全員の参加により

ことしこそ

## 契約2万5千件を達成しよう

(あなたの工組の努力目標は工組事務局でわかります)

上記期間中の新規契約件数成績優秀組合及び組合員を  
下記により表彰します。

**工業組合** 1位～5位 表彰状と金一封  
(但し100件以上)

**組合員** 1位～3位 表彰状と金一封  
4位～30位 表彰状と記念品  
(但し10件以上)

表彰は全日電工連総会の席上行います。尚組合員で1位～3位までの方を表彰式にご招待します。

全日本電気工事業工業組合連合会

既契約について、保守点検の確実励行!

# 謹 賀 新 年

## 今年もよろしくお願い申し上げます

あかるい明日を技術でひらく

東芝電材株式会社  
函館當業所

函館市大繩町二十二番十四号  
電話 函館 四一二二四一

吟味する

松下电工株式会社

函館市西桔梗町五八九番地一〇七  
電話 函館 四九一 一五二五

工事材料・電化製品

丸晃電氣株式會社

函館市西桔梗町五八九一四九  
電話四九一三一三

# 全道随一の照明設備センター 電設機器資材の総合電機印

大興電機株式会社

本社 明照 営業所  
函電電札 館話 市幌 西千代一才町一七九四〇八島  
函電館話市幌西千代一才町一七九四〇八島

三菱電材特約店  
あらゆる電設資材卸

隆東電機株式会社

函館市西桔梗町五八九一一〇八  
電話四九一六二二二六

電設資材・機電綜合卸

進和電機株式会社

函館市四松二川町三三四一三

明日をひらく電設資材の総合卸商社

株式会社  
工三十九  
商會

函館市富岡町一丁目四一一七  
電話四三一三〇一一(代表)  
本社・札幌支社・東京営業所・銅路  
出張所・古小牧

電氣工事材料  
音響通信機器  
総合商社

石垣電材館株式業會社